

春の陽ざしに包まれて

園庭から耳あたらしい笑い声が聞こえてきました。  
この春、つくしで共に生活を始めた子どもたちです。  
新年度がいよいよスタートしたんだな。新鮮な実感がわいてきます。  
つい一週間ほど前、卒園生を送り出したばかりなのに  
さびしさにひたるのもつかの間、目の前の子らの笑顔は物語の新しい頁へと  
われわれ大人の背中をおしだしてくれませう。

しかし、きのうまでの物語も、決して終わったわけではありません。

先週、卒園生たちの小学校へ園の書類を届けに行きました。  
職員室の扉をノックし、名乗って教頭先生に手渡しするのですが  
用事を済ませて帰る私の背中を呼び止める声がありました。

「5年生〇君の担任です」。一人のベテランらしい女性の先生でした。  
『つくし』と聞こえたので、どうしても伝えたいことがあって。  
『つくし保育園はほんとに楽しかった』と彼が今も言うのです。  
困難を抱えても『つくしの日々があったから胸を張っていられる』と。  
彼は、少し足の悪い私をいつも横で支えてくれる優しい子なんです。  
彼のこと、ありがとうと伝えたくて、つい呼び止めてしまいました」  
「わたしこそ、ほんとうにありがとうございます」と申し上げました。

つくしっ子たちの物語は、園から巣立った後も  
今なお、それぞれの人生の中で大切に紡がれている。  
そのことを実感し、春の陽ざしのようなあたたかい心で帰園しました。  
(つくし保育園園長 つだかずお)

<イースター礼拝のご案内>

4月21日(日)午前10時30分 だいが教会

聖書のたのしいお話 なつかしい讃美歌 エッグハンティングなど  
お花見弁当で晴れたらお外で愛餐会(300円、申込4/16まで)

はじめての方も心より歓迎します。